

令和4年度 地域医療連携センター ニュースレター

令和5年3月発行
Vol.5

国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて丸3年。政府はコロナウイルス感染症を2類感染症から5類感染症に移行することが決定しました。

そのような状況下において、地域医療連携センターでは4月より上田看護師長を新たに迎え「ポジティブシンキング」を合い言葉に取り組んで参りました。

今年度の活動についてニュースレターにて報告させていただきますとともに、今後とも地域医療連携センターの活動にご支援賜りますようお願いいたします。

ご挨拶

今年度、地域医療連携センターはストラップを作成しました。

理由として、ストラップで識別でき、認識できる。また、地域医療連携センタースタッフとして組織横断的に外来・病棟等と関わり、自覚と責任を持ち、行動することを期待し、作成しました。ストラップの色にも意味があります。紺は、洞察力を高め深く物事を見て、感じることができる人、表面に現れていない部分を見ることをサポートする。オレンジは暖かさ、明るさ、元気、可愛らしさがあり、明るく活発な印象や暖かい印象を与える色、庶民的に親しみやすいイメージを与えたりする効果がある等の意味があり選びました。

今後とも、地域医療連携センターをよろしくお願いいたします。



地域医療連携センター看護師長 上田直美

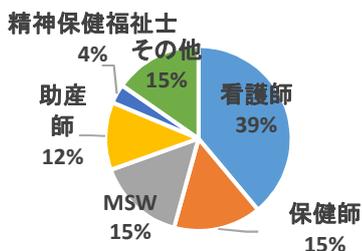
令和5年2月24日（金）にチャイルドプロテクションチームと合同で地域医療連携センターの講演会を開催しました

熊本赤十字病院から、第二小児科部長の武藤先生、PICU看護師の佐藤先生、産婦人科助産師の林田先生にお越しいただき、ご講演いただきました。

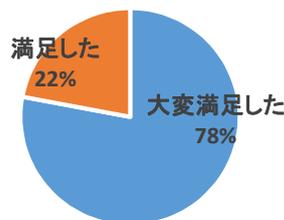
会場とオンライン配信のハイブリッド形式で開催し、院内、院外から150名を超える様々な施設の職種の方にご参加いただきました。

アンケート結果

ご参加いただいた職種



講演の満足度



令和4年度 熊本大学病院 チャイルドプロテクションチーム・地域医療連携センター合同講演会
専門職が実践する親子の支援
～ 連携の質 さらなる向上をめざして ～

日時 令和5年2月24日(金) 18:00～19:30 **参加無料**

会場 熊本大学病院 第一会議室 (Zoom配信あり)
※新型コロナウイルス感染症の状況によって開催形式が変更になる場合があります。

開会挨拶 熊本大学病院 地域医療連携センター長 武笠 展史 教授
座長 熊本大学病院 新生児学術科副科長(チャイルドプロテクションチームリーダー) 二岡 浩 特任教授
熊本大学病院 地域医療連携センター 上田 直美 看護師長

講演1 虐待から子どもたちを守る
～ 当院における虐待対応の現状と課題～
熊本赤十字病院 第二小児科部長 **武藤 雄一郎 先生**

講演2 虐待症例における医療者の関わりと予防、早期発見のために
熊本赤十字病院 PICU 看護師 **佐藤 晋哉 先生**

講演3 専門性を活かした周産期における支援
～ 複雑化する問題を共に考える～
熊本赤十字病院 産婦人科助産師 **林田 幸佳 先生**

閉会挨拶 熊本大学病院 地域医療連携センター副センター長 入江 弘基 教授

主催 医療関係者、介護・福祉・教育・行政関係者、熊本大学教職員および学生
【会場】熊本大学病院 第一会議室 定員50名 (Zoom配信あり)

お申し込みは以下のQRコードからお願いいたします。
お申し込み 受付期間 2/24(金) 17:00まで
URL <https://forms.gle/3VNS21anm4u1>

〒860 熊本大学病院チャイルドプロテクションチーム、地域医療連携センター

お問い合わせ 熊本大学産院産後サービス課地域・がん医療連携担当
TEL 096-373-6903
MAIL kms_ganzenke@jmu.kumamoto-u.ac.jp

今年度も、病院7施設、訪問看護ステーション7施設、聾学校1施設等、様々な施設から当院へご訪問いただきました。

お知らせ

入院前支援ブースを設置！

「退院支援は入院前からスタートする」という考えの下、入院前支援を退院支援の一環と位置づけ、当院でも入院前支援をおこなっています。

外来診療棟2階の採血室前です。



外来時に入院前支援枠を確保し、看護師、薬剤師、事務員による支援をおこなっています。

脳卒中・心臓病等支援センターと連携していきます！

国の事業により、循環器病（脳卒中や心臓病）を幅広く支援するため、11月より当院に「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が開設され、それに伴い、地域医療連携センターでは脳卒中療養相談士の資格を取得しました。

病気が落ち着いても後遺症が残ることが多く、患者様やご家族への情報提供や療養に関する相談窓口として支援をおこなっていきます。



治療と仕事の両立でお悩みの患者さんはいませんか？

地域医療連携センターは就労の相談窓口です



- 「どのくらい仕事を休まないといけないですか？」
 「仕事を休めないで治療はできません。」
 →治療内容や業務内容など病院と職場が必要な情報を整理し共有できるようお手伝いします。
 →職場へ相談するタイミングや伝え方を一緒に考えます。
 「仕事を休むと収入が減るので入院は困ります。」
 「会社に迷惑かけるから退職しようと思っています。」
 →必要に応じて所得保障（傷病手当等）の制度をご案内します。
 →休職や退職に伴う経済的な不安の相談に応じます。
 「今の自分にできる仕事を見つけない。」
 →ハローワークなど就労に関する支援機関と連携します。

国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会に参加しました！ ～2022年7月8・9日～

担当は神戸大学でWEB開催でした

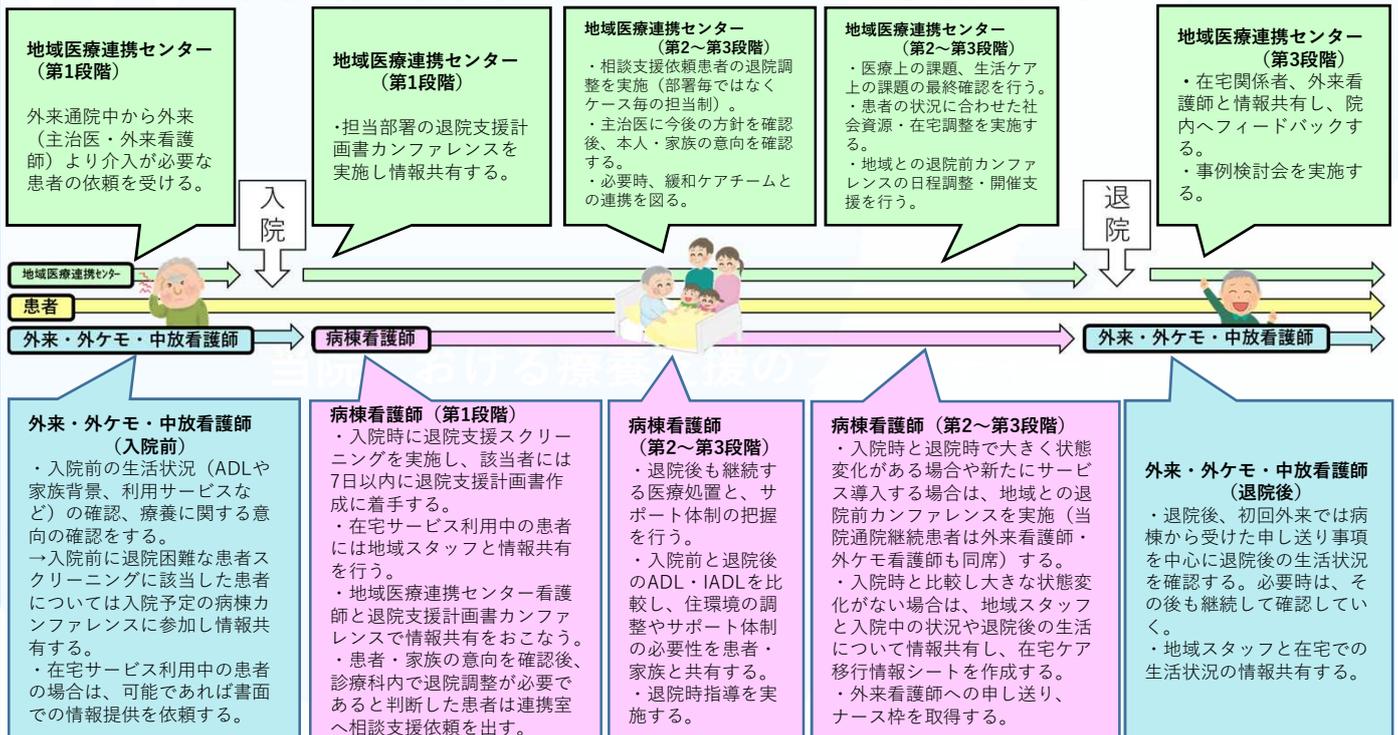
この協議会は、社会の高齢化、病院機能の明確化から、円滑な早期退院を目指した退院支援や地域との医療連携は大学病院の重要な機能となっているため、業務の改善、向上、効率化を図ることを目的に平成15年より発足しました。毎年開催され、参加しています。コロナ禍における大学病院の地域連携の役割やICTの活用などタイムリーな内容が盛りだくさんでした。



ポスターセッションではテーマごとに3グループに分かれ、「治療と就労の両立支援のための院内連携」について北海道大学、福井大学、名古屋大学、浜松医科大学、京都大学、岡山大学、高知大学、宮崎大学とディスカッションを行いました。

院内連携の強化や広報周知が今後の課題です。

当院における療養支援のフローチャートを作成しました！ 2022年10月1日作成



活用してみて、ご不明な点があればご連絡ください